

航空業界で働くみなさん

仲間と一緒に労働条件を考えましょう!

JAL ユニ 宣伝ビラ
No17-03

2020
春闘

…って言われても
自分には関係ない…

そう言わず、この時期だから考えてみて下さい。

時給1500円以上もらってる?

東京で25歳の方がひとり暮らしをするには、時給換算で約1700円必要という調査結果が発表されています。東京都の最低時給の1013円では普通の暮らしはできないということです。パート、アルバイトなど有期社員だけでなく月給の方も月の労働時間で計算してみてください。時給が上げばどうなるかは「**全国一律！サイチン音頭**」で検索を!

非正規差別はNGです!

4月から正規雇用と非正規雇用の待遇差が法律で禁止されます。ボーナス、手当、退職金、休暇、休業制度、福利厚生などの差別がNGになります。とは言っても直ちに労働条件が改善されるわけではありません。誰かが声を出して要求し運動しないと改善されません。「JAL系の正社員組合の人達に言っても仕方ないから…」と諦めるのはまだ早い!

あなたの権利は守られていますか?

✓ 該当するところにチェック	
<input type="checkbox"/>	労働契約書がない
<input type="checkbox"/>	約束より給料が安い
<input type="checkbox"/>	サービス残業、持ち帰り残業がある
<input type="checkbox"/>	休憩が取れない
<input type="checkbox"/>	有給休暇が取れない
<input type="checkbox"/>	パワハラ、セクハラ、マタハラがある
<input type="checkbox"/>	労災を認めてもらえなかった
<input type="checkbox"/>	あなたの活躍できる場所はないと肩たたきにあった

会社には言えない 組合になら言える

上のチェック表に当てはまっても個人で会社に言うのは難しいものです。そんなときのためにあるのが労働組合。会社に組合がなければ個人加盟できる組合もあります。

労組 スカイネットワーク

派遣社員、契約社員など非正規雇用、大手航空会社の下請け企業で働くみなさんをお待ちしています。客室乗務員の方も連絡すれば「**ジャパンキャビンクルーユニオン**」という一人でも入れる客室乗務員の組合を紹介してもらえます。JALグループで働いているみなさんは私たち「**JAL ユニ**」へ。



これが組合の掲げる要求

「組合が何しているのかわからない」と言われる労働組合もあるでしょう。日航労連の各労組では、以下の要求を JAL 経営に提出し交渉しています。その他、職場単位の要求も加えて改善を目指しています。

2020 春闘日本航空労組連絡会議統一要求

1. 整理解雇問題は当該 2 労組統一要求に基づき早急に解決すること。
2. 職場のハラスメントを一掃し、組合所属による昇格差別をしないこと。
3. 2020 年度夏期一時金を 3.0 ヶ月以上支払うこと。
4. 基本給を 4%以上アップすること
5. 全社員に対し以下の通り諸手当を支払うこと。
 - (1) 日曜祝日土曜出勤手当 1 日につき 1500 円とすること。
 - (2) 年末年始出勤手当 10,000 円以上とすること。
 - (3) 深夜労働手当の割増率を 35%以上とすること。
 - (4) 残業手当、延長就業手当の割増率を 35%とすること。
 - (5) 住宅手当を新設すること。
6. 安全に関する要求
 - (1) 123 便事故後に出された最高経営会議方針の根幹である「絶対安全の確立」の原点に戻った経営施策を行うこと。
 - (2) 安全アドバイザーグループの提言書の精神であり、社内検証委員会報告書にも記載のある、管理強化のみに頼らず自由に何でも言える風通しのよい職場づくりに努めること。
 - (3) 安全運航を阻害している部門別採算制度を改めるとともに、効率優先、稼働強化一辺倒の勤務ならびに体制を見直し、安全を担保するために必要不可欠な人員・作業体制を直ちに構築すること。
 - (4) 行き過ぎた定時性施策を改めること。
7. S T 制度に関する要求（制度改善につながる 5 項目を要求）
8. 季節特別休暇(SV)を 3 日付与すること。
9. 特定目的積立休暇制度について、自己啓発を目的とした取得についても認めること。
10. JAL グループ社員が仕事と子育てを両立させることができる環境を整備すること。

十分な企業体力
今こそ社員に
還元を！

解雇問題解決で労使関係も改善

破たんから再生した JAL において、労使の信頼関係は少しずつ築けています。私たちの要求を真摯に受け止め、一步一步ではありますが回答してくるようになりました。今は組合差別も減ってきています。あとは解雇問題を解決するだけ。高い要求を掲げる組合を排除するような会社なら「自由に何でも言える職場」にはなりません。

パイロットは年間の乗務時間制限が 960 時間に拡大されて以降、人員不足により疲弊しきった現場の乗務中断者は右肩上がり、ほぼ 5%にまで上がっています。根本的な勤務改善策が提示されないまま、「既成乗員の採用もないとは言えない」と会社の発言もありました。労働条件の改善により解決されるべき問題であり正面から回答を要求します。

客室乗務員は特に勤務基準が改悪されて以降、休養時間が大幅に減り、疲労回復ができずに現場は疲弊しています。実際、体調不良者も増えています。また、職場では賃金が低く抑えられていることへの不満が大きく、自分たちの仕事が賃金に見合っていないと感じています。仕事上、不特定多数の多くの人と接することになり、新型コロナウイルスについては不安を持ちながら乗務しています。この春闘で労働条件アップ、環境改善を求めていきます。

整備は、12 月から組織とシフトが変更になり、問題が山積みです。それまで出来ていた作業も最近は人員不足で持ち越しになることが増えました。シフトの引継ぎも上手くいかずに残業が発生。夜勤明けや遅番でも終業時間のぎりぎりまで働いているので振り返りの時間が取れません。今後、夏ダイヤで便数が増えますし、整備にも電子ログが広がってくるため、勤務体制改善は急務です。

日航労連「JALユニ」宣伝ビラ No 17-03 2020 年 2 月

発行：日本航空労組連絡会議

Tel/Fax03-6423-2461 Mail →

日本航空乗員組合・日本航空ユニオン・日本航空キャビンクルーエオン



一部で告知していた3月6日のJALグループ全社員集会は諸般の事情により中止します。